

財務会計

八重倉 孝 教授

1. 担当教員の専門分野(研究領域)・現在の研究テーマ

国際分野を中心とした財務会計に関する実証研究および制度研究を行ってきた。特に会計情報が市場に与える影響、会計情報による企業評価、及び市場の(非)効率性に関心を持っている。近年は、会計基準の理論分析と、会計学の研究方法論についての研究を進めている。

2. 指導方針

博士後期課程では、三年間で世界に通用する水準の博士論文を完成しなければならない。そのため、出来るだけ早い段階で博士論文のテーマを決定し、そのテーマに関する網羅的な文献の涉猟を開始する。その一方で、論文作成に必要な知識が不足している場合には、本学の有する資源を最大限に活用して、早急にそれらの知識を習得してもらう。論文は基本的に英語で作成し、在学中に海外の学会で発表することを必須とする。

3. 学生に対する要望・その他

入学者は修士課程のコースワークと同等の知識を持っていることが前提である。さらに、毎週多数の英文文献を読みこなせるだけの英語の読解能力と、自分の研究結果の報告や他者の研究結果への論評を英語で行えるだけの英語の発信能力が必要である。大学院生にとって時間はいくらあっても足りない。博士三年間を会計学研究へフルにコミットする覚悟のある学生を期待している。

なお、指導教員は 2031 年度末に定年退職の予定である。